

令和4年3月

(第71回)

八戸圏域水道企業団

経営審議会

会議録

と き 令和4年3月11日(金)

午後3時

ところ 八戸圏域水道企業団

1階大会議室

八戸圏域水道企業団

令和4年3月八戸圏域水道企業団経営審議会 会議録

日 時：令和4年3月11日（金）15：00～16：40

場 所：八戸圏域水道企業団 1階大会議室

出席の状況

○ 出席（13名）

会長	武輪 俊彦	（武輪水産㈱ 代表取締役社長）
副会長	大沢 泉	（八戸学院大学 地域経営学部 教授）
委員	秋葉 孝	（㈱ユニバーズ 総務部 部長）
〃	荒谷 達也	（㈱東奥日報社八戸支社 支社長）
〃	風張 知子	（㈱デーリー東北新聞社 常務取締役 社長室長）
〃	川崎 勇次	（元八戸圏域水道企業団 水質管理課長）
〃	倉成 磨	（有倉成会計事務所 代表取締役 公認会計士・税理士）
〃	下日向 恵美子	（階上町水道利用者）
〃	鈴木 拓也	（八戸工業大学 工務部 土木建築工学科 准教授）
〃	高畑 紀子	（合同会社ハイフィールド・クリエイション 代表）
〃	高森 義範	（元三戸町 水道担当課長）
〃	中村 一明	（連合青森三八地域協議会 議長）
〃	間所 顯宣	（東北電力ネットワーク㈱八戸電力センター 所長）

● 欠席（2名）

委員	佐藤 啓一	（三菱製紙㈱ 上席執行役員 八戸工場長）
〃	藤原 広和	（八戸工業高等専門学校 産業システム工学科 環境都市・建築デザインコース教授）

（順不同・敬称略）

企 業 団（20名）

副企業長	古川 勲
事務局長	村上 昇
事務局次長兼総務課長	田中 壽秋
事務局次長兼経営企画課長	三浦 哲也
事務局次長兼配水課長	野々口 宏樹
事務局次長兼浄水課長	遠藤 邦宏
総務課危機管理監	沢田 昌希
総務課参事	清水 勝康
総務課参事兼課長補佐	巻 泰伸

管財出納課長 田村 明義
料金課長 山道 隆志
工務課長 内宮 靖隆
検査室長 北城 祐司
給水装置課長 豊川 文式
水質管理課長 西野 真之

経営企画課長補佐 瀧田 肇
経営企画課財政運営グループリーダー 副参事 三浦 晶子
経営企画課財政運営グループ 主査 宮崎 克敏
経営企画課財政運営グループ 主事 佐々木 陽平
経営企画課財政運営グループ 主事 日山 碧

日 程：令和4年3月八戸圏域水道企業団経営審議会

【 次 第 】

1. 開 会

2. 議 事

案件1 令和4年度水道事業会計予算(案)について

案件2 その他

①青森県三八地区における水道事業広域連携の検討・協議について

②水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料の認証取得に関する

不適切な行為への対応について

3. 閉 会

会議内容要旨

1. 開 会

事務局次長兼経営企画課長

これより第71回経営審議会を開催させていただきます。

皆様におかれましては、今回もマスクの着用及び手指の消毒にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。また、会場ではテーブルにパーテーションを設置することでコロナ対策を講じております。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは開会にあたりまして、副企業長からご挨拶を申し上げます。

副企業長

本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

まず初めに企業長である熊谷八戸市長ですが、昨年の11月に企業長に就任いたしました。前回の第70回会議にも出席できませんでしたが、委員の皆様にもよろしくということで、メッセージを預かって参りましたので、代読をさせていただきます。

「経営審議会委員の皆様におかれましては、八戸圏域における水道事業発展のため御尽力いただいていることに敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

私は、昨年11月24日の構成市町長会議におきまして第5代企業長に選任されました。前任の小林企業長から企業団を受け継ぎ、更なる発展の一翼を担う機会を得ることができましたことは、大変光栄に存じますとともに、圏域住民30万人の命の水を守る重責を感じております。

日本国内の水道事業は、将来にわたって安全で強靱な水道事業を健全に持続できる仕組みづくりに努めており、当企業団も例外ではなく、人口減少などにより料金収入が減少し続ける厳しい経営環境の中、安全対策、施設の老朽化対策や災害対策への備えが急務となっております。今後は様々な方と対話を重ね、当企業団をはじめ周辺の水道事業体をより良い方向へ導けるよう最大限努めて参ります。

そのような中、当企業団では、令和元年度から10年間の計画期間である第4次水道事業総合計画に基づき事業を進めておりますが、これまでの事業の進捗管理や検証を行うとともに、令和5年度からの残り6年間の計画の見直し作業にも着手しております。

本日の会議では、令和4年度当初予算(案)について御説明申し上げますが、今後は総合計画の見直し(案)や次期財政計画(案)もお示しする予定でありますので、皆様には引き続き第三者の視点で忌憚のない御提言をいただければ幸いに存じます。

水道事業を取り巻く環境は、大きく変化しておりますが、委員の皆様には、当企業団の水道事業運営により一層の御支援と御指導を賜りますようお願い申し上げます。

八戸圏域水道企業団企業長(八戸市長) 熊谷 雄一

以上、代読でございました。

さて、変わりまして本日は3月11日ということで、東日本大震災から11年目を迎えて

おります。少しの間お時間をいただきまして、当時の状況を振り返ってみたいと思います。

午後2時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0のものすごい巨大地震が発生いたしました。宮城県の栗原市で最大震度7を記録して東北地方を中心に、北海道から九州にかけて揺れを観測いたしました。八戸市では南郷区で震度5強を観測したほか、内丸で震度5弱、湊町と島守で震度4を観測いたしました。

水道の状況は、地下水系の蟹沢・三島、また当時は島守の簡易水道もありまして、この三水源については濁りが発生し、すぐに取水停止という状況でした。ただ、蟹沢・三島については、ここ白山浄水場からのバックアップが可能ということで問題はございませんでしたが、島守の簡易水道は独立をしていたため、補給ができない状況でございました。12日の正午から15日の午前6時まで、約470戸が断水となり給水車による応急給水を実施したということもございました。

浄水施設についてですが、主力の白山浄水場で地震が発生と同時に停電という状態になり、午後3時までに非常用自家発電機で電源を確保いたしました。また、午後3時45分には、新井田川系の是川ポンプ場、午後4時50分には馬淵川系の楢引にあります川中島ポンプ場、これらの非常用自家発電機で浄水処理の再開をしております。しかし、非常用自家発電機の燃料不足、水道用の薬品類が非常に緊迫している状況が続くなどございましたが、12日の夜には停電が解消されはじめ、広域的な断水は免れました。以上、簡単ではございましたが、同時の状況をご説明いたしました。

さて、本日の会議は初めに令和4年度水道事業会計当初予算(案)についてご説明いたします。これは3月23日に開催を予定しております、企業団議会3月定例会で詳細説明をし、審議をいただくこととなっております。

次に、その他案件といたしまして、青森県三八地区の水道事業広域連携と水道用ダクタイル鋳鉄管塗料の認証取得の不正行為、これらについてご報告をさせていただきます。

以上でございますが、本日もよろしく願いいたします。

事務局次長兼経営企画課長

それでは、本日の出席状況についてご報告申し上げます。委員15名中13名の委員のご出席をいただきました。会議が成立していることをご報告申し上げます。それでは、以後の進行を会長にお願いいたします。よろしく願いいたします。

会長

まず会議に入る前に、委員の変更がありましたので、お知らせします。

<変更委員の紹介>

会長

今回の会議が委員の任期中最後の会議となります。このコロナ禍の中で開催が思うようにいかなかったり、時間が十分に確保できなかったりして、皆様からご意見をいただく余

裕がなかったとっております。本日の案件は、令和 4 年度水道事業当初予算(案)と水道事業広域連携と水道管塗料の認証取得に関する不正行為についてではございますが、今期の皆様の委員としての活動のなかで思うことがございましたら、最後に是非ご発言をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議 事

案件 1「令和 4 年度水道事業当初予算(案)について」

会長

それでは、本日の案件に入ります。案件 1「令和 4 年度水道事業当初予算(案)について」ご説明をお願いいたします。

事務局長

<資料 1 を説明>

会長

この件に関しまして委員の皆様からの事前質問はございませんでしたので、この場で委員の皆様からご意見ご質問を承りたいと思います。どなたかいらっしゃいませんか。

A委員

資料 1 のスライド 6 ページの予算の概要についてですが、上水道事業費の営業費用の中に原水及び浄水費というのがありますが、これが令和 3 年度決算見込額との対比ですが 17.5%程度増加しているというのがあります。また、補足資料 6 ページの予算の概要の中には、薬品費や動力費というのがありますが、こちらの動力費も 12.8%、薬品費が 27.5%それぞれ増加しています。

まず動力費なのですが、これに関しては電力料金の値上げによるものなのでしょうか。また、薬品費について 27.5%増額というのはどのような理由なのでしょうか。

事務局次長兼浄水課長

まず、動力費についてですが、これは電力料金の値上げというのが大きな要因です。

次に、薬品費ですが当初予算(案)と決算見込額を比較すると、当初予算(案)の方が金額としては大きいのですが、予算の数値は入札前の予定金額ですので最終的な費用とすると、令和 4 年度が終了すれば、令和 3 年度と同じくらいの金額になると考えております。

A委員

今ようやく仕組みが分かりました。この予算というのは入札前のおおよその見込額であって、決算というのは入札を終えて、複数社が応札してくる結果にて費用が決まるという

ことですね。

事務局次長兼浄水課長

薬品の使用量についてもおおよその見込を立てておりまして、多少多めの使用量を考えております。

A委員

少し専門的なことになってしまうのですが、実際企業団でも活性炭や様々な薬品を使用していると思うのですが、近年の傾向として単価の値上がりはありますか。

事務局次長兼浄水課長

特に大きな値上がりはしておりません。

A委員

だいたい一定の単価であるということですね。

事務局次長兼浄水課長

特に活性炭は震災のあたりが値上がりしていたのですが、今は徐々に下がってきておりまして、ほぼ震災前のレベルになりました。

A委員

分かりました。

次に資料1のスライド12ページの収支状況図についてですが、ここの仕組みを教えてください。

資本的収支の収支不足額が約33億円というのがありますが、それを収益的収支から補てんしているということなのですが、例えば補てん財源の約67億円の内訳ですが、前年度からの繰越見込額として約37億円、内部留保資金は減価償却費等から長期前受金戻入を差し引いたものと図を見ればわかるのですが、前年度からの繰越見込額というのはどこの費用項目から引っ張ってきたものなのかを教えてくださいと思います。

事務局次長兼経営企画課長

約37億円の補てん財源はどこから生じているのかといいますと、令和3年度決算見込額の数字になりますが、建設改良積立金として8億3,492万1千円ほど見込んでおります。また水道施設機能強化積立金として20億円、さらに令和3年度の利益として、未処分利益剰余金という名称ですが、9億3,132万8千円という合計が37億6千万円という数字になっております。

A委員

この資料1のスライド5ページから8ページ以外の予算もあるということですか。
今ご説明いただいた費用項目というのは、いただいた資料1の中にあるのでしょうか。

会長

令和3年度の決算見込額ということで、いくつかの項目で数字を言われたものがこの資料1の中にありますでしょうか。ということですか。

事務局次長兼経営企画課長

少々お時間をいただいて回答いたします。

A委員

続いて、資料1のスライド14ページの安全について、水源の安全のところに三島浄水場水源汚染対策工事とありますが、私も何度か三島浄水場の水を研究で使わせていただき、硝酸態窒素が高いということでしたが、それに関連する工事なのでしょうか。

事務局次長兼浄水課長

硝酸態窒素とは関連をしておりません。

三島浄水場の敷地内に井戸があり、もちろん普段は鍵をかけており、簡単に覗けるようなものではないのですが、井戸の周りに砂利を敷いておりまして、そこに何か毒物を投げ込まれると地下浸透して、井戸の中の水と混じってしまうということなので、その砂利の部分を水が浸透しないように、コンクリートで覆ってしまうということでもあります。

A委員

フェンスの内側ですね。

事務局次長兼浄水課長

そうです。

A委員

分かりました。

次に、災害への備えに、ボトルドウォーターの製造とあります。他の水道事業体ではペットボトルを廃止している事業体も多くなってきていますが、八戸圏域水道企業団では周りの水道事業体の動向も踏まえて、これからも継続するのか、それとも廃止するのか内部で検討しているのでしょうか。

事務局次長兼総務課長

確かに現在ペットボトルを廃止している事業体も出てきていますが、当企業団では当面

の間廃止を考慮してはおりません。廃止している事業体は、ペットボトルではなくアルミ缶にしているところもありますが、この地域でそういった製品を作れる企業もありませんので、当面はペットボトル製造を続けていくと考えています。

A委員

ちなみにペットボトルの製造にどのくらい費用が掛かっているのですか。

事務局次長兼総務課長

今年度の予算ですと、およそ4万本作製する予定で、費用としては412万円程度を見込んでおります。

A委員

資料1のスライド25ページ、先程の料金回収率についてです。実績見込額のマーカールを見ると、令和2年まではいいですが、令和3年、4年と急激に下がってきています。これは、コロナウイルス感染症の影響があるのでしょうか。

会長

料金回収率が下がってきている要因についてですね。

事務局次長兼経営企画課長

令和2年度から4年度まで数字が悪化しているのはコロナウイルス感染症の影響ではないかというご質問ですが、この原因については企業団内でも調査中です。

料金回収率は給水原価を分母、供給単価を分子として算出します。1m³の水を作るための費用が料金収入よりも高いと、料金回収率が100%を下回る状態となります。その原因がコロナウイルス感染症と断言することは現時点ではできません。様々な費用が積み重なっているという状況ではあります。

先程少しお時間をいただきました補てん財源の話になりますが、資料1のスライド10ページ「資本的収支不足額の補てん財源」に掲載しております。こちらの表の、建設改良積立金8億3,492万1千円、水道施設機能強化積立金20億円、令和3年度利益見込額として9億3,132万8千円の3つが繰り越し財源として見込まれており、トータルで37億6,624万9千円となっております。

A委員

こちらの補てん財源を使って、資本収支の収支不足額に充当するということですか。

事務局次長兼経営企画課長

その通りです。毎年、営業活動の成績となる収益的収支で純利益を発生させ、純利益を積立金に処分していきます。この毎年積み立てたお金で、資本的収支の不足額を補てんす

るというお金の流れとなっています。

A委員

料金収入が減ったとしても維持管理を持続していかなくてはいけないのが水道事業だと思いますが、そこでボトルネックになるのが建設改良費かと思います。水道管の単価はだいたい決まっているかと思いますが、工事費用をいかに削減できるかだと思います。企業団では、例えば水道管布設工事等で単価を安くするような工法等の調査は進められているのでしょうか。

工務課長

通常、水道工事は開削工事でありまして、それらに係る歩掛費用というのは国・県で決められており、安くはできない状態です。どこでも平等な工事費で算出している状況です。近年労務単価や、厚生労働省が出している経費も上昇しておりどうしても工事費は上昇する状況が見受けられます。

そうした中で今、国土交通省では ICT を活用した経費削減を試しているようです。そこからはまだ私たちを管轄している厚生労働省まで来ておりませんので、厚生労働省で歩掛りに見直しがあれば、それに伴って下げることが可能かと考えております。現状では検討出来ておりません。

A委員

独自に新しい水道管を布設する工法を開発しようと考えてはいませんか。

工務課長

独自というと、メーカーと協力して開発していく必要があります。工事が困難な場所であれば今回ご説明したようなシールド工事や推進工事を採用していますが、社会的コストは下がりますが、工事費は上がってしまいます。現時点では、安価な開削工事がベストだと考えております。

A委員

企業団でも使われていると思いますが、GX 管が採用されたときに今までの管よりも開削工事の幅を狭くできて、工事単価が安くなるという宣伝でしたよね。実際はどうでしょうか。

工務課長

GX 管が採用されたときは開削工事の幅を 50 cm にできるという宣伝でしたが、実際に作業するときに 50 cm の穴に人が入れるかといいますと無理なので、従来の耐震管と同じ幅でやらせていただいております。

A委員

あまり工事費を削減する効果は無かったということですね。

工務課長

一つ実際に行っている工夫としては、浅層埋設とあって、道路法では水道管の埋設の深さについて1.2mとありますが、配水支管に関しては浅く埋設しても問題ないということで、浅く埋設し、工事費を削減する努力はしています。

A委員

分かりました。ありがとうございます。

案件2「その他 ①青森県三八地区における水道事業広域連携の検討・協議について」

会長

それでは案件2「その他」になります。

「①青森県三八地区における水道事業広域連携の検討・協議について」ご説明をお願いします。

副企業長

<資料2を説明>

会長

ただいまの説明につきましてご意見ご質問を承ります。よろしいでしょうか。

案件2「その他 ②水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料の認証取得に関する不適切な行為への対応について」

会長

それでは続きまして、「②水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料の認証取得に関する不適切な行為への対応について」説明をお願いします。

工務課長

<資料3を説明>

会長

ただいまの説明につきまして、ご意見ご質問を承ります。

B委員

現在、神東塗料から物品の調達・供給を受けていると思いますが、この不祥事によって神東塗料との取引は継続されるのでしょうか。

工務課長

不正行為のあった形式が 24 形式ありまして、そのうち 12 形式については認証に準じているということで、時限として 7 月 31 日までは認めるということになっております。ただその他の塗料については、5 形式だったかと思いますが、まだ結果が出ていないということで使用を自粛しております。

会長

ちなみに、他事業体の対応は同じようなものでしょうか。

工務課長

他事業体の対応についても今回確認しております。やはり工事の一時中止を行っておりまして、自粛解除になった時点で工事中止を解除しているということです。

会長

他の方はいかがでしょうか。

C委員

少し戻りまして、資料 2 についてです。今も八戸圏域水道企業団として広域でやっているのに、さらに検討体制というのは 3 町 1 村を加えて検討するという意味ですか。

副企業長

現在、八戸圏域水道企業団は 1 市 6 町で水道事業を運営しています。今お話した 3 町 1 村のうち 2 町 1 村については、給水人口 5,000 人以下の簡易水道を町村で経営しています。もう 1 町については、上水道事業を町で経営していますが、その水道について今後広域的な連携ができるのかということです。現在、組織が完全に違うものですから、当企業団の 1 市 6 町に入っている町もありますが、それぞれ簡易水道や上水道を経営していることについて今後協議を進めるという内容です。

C委員

八戸圏域は水道料金が他の地域に比べて高いということがあります。広域で安心安全の水道を供給するためにはそれもやむを得ないとこの経営審議会を通して勉強しましたが、さらに広域になると、単純にまた水道料金が上がるのかと心配しました。先ほどご説明の中では事業の統合は現時点では厳しいとおっしゃっていましたが、この先どうなるのか疑問に思い、質問いたしました。

副企業長

特に小さい水道事業体にとっては、人口減少がどんどん進んできている中で簡易水道を経営しており、なおかつ水道担当に多くの職員を充てるわけにはいかないという事情もありまして、具体的に話を聞くと現状が厳しいとのこと。年月が進めばこれがもっと厳しくなるだろうと思われ。地域の方々の水道をどのようにして守るのかという問題になっています。そこで、三八地区の中で私どもが協議会を立ち上げ、様々な情報交換をして具体的な厳しい現状も聞いていますから、特に国の方針もありまして、広域的な連携をしながら地域の方々の水を守っていかうというところです。そのためにはどういった形がいいのかという部分を今後具体的に協議開始するところでございます。水道を守るための連携です。

料金に関しては、八戸圏域単独でいいますと、令和 10 年度までは現在の水道料金で事業を進められるというシナリオは書いておりますが、広域連携が始まることで、他の事業の料金は少しずつ上げていかなければならないと想定はしています。できるだけ負担が増えないような形で連携が取れるように進めていきたいと思っております。今後具体的に協議していきたいと思っております。

会長

他の方がいいでしょうか。冒頭にも申し上げました通り、本日の案件に限らず今期委員として活動していただいた中でのご意見やご感想がございましたら承れればと思います。

D委員

今期色々見まして、改めて今日は東日本大震災から 11 年ということで冒頭副企業長からも当時の対応を伺いながら、ライフラインである水道の安定供給を保つというのは大事だとつくづく感じました。

よく土砂災害や自然災害で断水したときに給水車がよく出ているのを目にします。企業団で災害時の給水車の出動体制や速やかな復旧までの動き、災害に合わせた訓練等は検討しているのか訊いてみたいです。

総務課危機管理監

給水車については、加圧ポンプ付きの給水車を 4 台保有しております。その他、トラックに積載出来る給水タンクを 40 基保有しておりますが、大規模な災害の場合はこれだけでは足りなくなることが予想されます。その分は他の水道事業体の応援をいただいて給水出来るような体制を取っております。

訓練については、企業団独自の訓練を毎年度計画的に行っております。新人等職員はどんどん変わりますので、職員のレベルに応じてレベルアップを図れるように訓練を行っております。

D委員

日々のご努力感謝申し上げます。一回目の施設見学の際には水をいれる袋をいただいたりもして、皆様の努力を感じておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

ありがとうございました。

会長

他の委員の皆様いかがでしょうか。

C委員

広報紙「おらほの水」を拝見しても、自分たちのやっていることをただPRするだけでなく、利用者の方にこのように利用してほしいという思いが分かりやすくまとめられているなと思い、感心していました。今回の予算に関しての資料についても説明が詳しくて、見ていてなるほどと思いました。委員や住民の方に寄り添った広報をしているなと思っております。ありがとうございます。

事務局次長兼総務課長

広報紙についてご意見をいただきまして、読みやすくなっているということでありありがとうございます。今後も皆様に読んでいただけるように、そして、企業団の事業について理解していただけるように努めてまいりたいと思います。その際には、皆様のご意見があればお聴きしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

会長

他の委員の皆様いかがでしょうか。

E委員

私事で恐縮ですが、この会議が始まる10分ほど前に異動の通知を受けました。わずか1年半ということであつという間でしたが、今回、八戸圏域水道企業団の経営審議会に参加させていただき、大変参考にさせていただきました。先ほどの災害復旧の話もそうですし、日頃何かがあったときにお客様への丁寧で迅速な対応をするということは私どもも忘れずに、しっかりと継続していかなければならないと逆に教えていただきました。大変勉強させていただきました。簡単ながらお礼申し上げます。ありがとうございました。

会長

限られた期間でございましたが大変お世話になりました。ありがとうございました。

他の委員の方々いかがでしょうか。お一人ずつからご意見をいただければと思っていましたが、予定の時刻を経過しておりますので、申し訳ございませんが以上をもちましてご質問等は終了とさせていただきます。

事務局から何かございますか。

無いようですので本日予定しておりました案件はすべて終了とさせていただきます。
進行を司会へお戻しいたします。

事務局次長兼経営企画課長

会長、委員の皆様大変お疲れ様でした。
最後に副企業長から一言挨拶を申し上げます。

副企業長

委員の皆様大変お疲れ様でございました。任期は5月までということになりますが、第10期の委員の皆様に関しては本日が最後の会議ということでございます。

これまで予算や決算と数字がたくさん出てきて、どのように皆様に分かり易く説明すればいいのかと、いろいろ内部で協議をしながらやってきたのですが、まだまだ足りないところがあったと思います。グラフの使い方や説明の流れの関係も勉強することがたくさんございます。また、専門用語を使いすぎたりした部分に関しても、今後分かり易く説明するように努めて参りたいと思います。これまでご指導いただき大変ありがとうございました。

また、第10期は本日が最後でございますが、第11期委員就任のお願いに上がった際には快くお引き受けしていただくことをお願いして、挨拶に代えさせていただきます。大変ありがとうございました。

最後になりますが、本日出席している当企業団幹部の中に退職者がおりますので一言ずつ挨拶をさせたいと思います。

まずは事務局長からです。

事務局長

事務局長を2年間務めさせていただいて、その間はこの経営審議会でも予算・決算等を説明させていただきました。予算・決算は不得手なもので、つい先ほどの説明のように工事関係に力を入れてしまいました。

事務局長になる前も含め、長い間お世話になりました。ありがとうございました。

事務局次長兼総務課長

私は総務課に来て5年間、その前も含めて8年間お世話になりました。本当にありがとうございました。

給水装置課長

この経営審議会に関しましては、7年間にわたり出席させていただきました。そして、いろいろな面で大変勉強させていただきました。ありがとうございました。

今後、水道事業経営は非常に厳しい時代を迎えると思われませんが、委員の皆様におかれましては、委員を離れましても市民の目線から当企業団の水道事業経営に対しまして、ご

意見ご要望等をお寄せいただければと思っております。ありがとうございました。

事務局次長兼経営企画課長

以上を持ちまして、予定しておりました日程が全て終了いたしました。

これで第71回経営審議会を閉会させていただきます。皆様大変ありがとうございました。